

エネルギーと科学・技術に関する分科会 議事録

日時：平成31年3月8日（金）10：00～11：40

場所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室

出席者：鈴置保雄委員長、山地憲治副委員長、疇地宏幹事、秋元圭吾幹事、朝倉薫委員、犬竹正明委員、大久保泰邦委員、北川尚美委員、近藤駿介委員、齋藤公児委員、笹尾真実子委員、柘植綾夫委員、藤田修委員、藤岡恵子委員、三間罔興委員、宮崎久美子委員、和田元委員（スカイプ）

配布資料：

資料1 シンポジウムプログラム「再生可能エネルギー次段階の導入に向けて」

資料2 シンポジウム企画提案書「長期の温室効果ガス大幅排出削減に向けたイノベーションの役割と課題」

資料3 学術フォーラムの概要について（エネルギー科学技術教育の現状と課題）

資料4 日米シンポジウム（ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学技術の展望）

資料5-1 ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学小委員会設置提案書

資料5-2 ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学小委員会委員名簿

資料6 熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会（第1回議事録）

参考資料 エネルギーと科学・技術に関する分科会 前回議事録

参考資料 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状と将来 Part 2」

議事

1) 各委員会の報告・活動方針

- ・ 秋元幹事より、地球温暖化対応の視点からのエネルギー対策・政策検討小委員会について報告された。第二回小委員会を11月1日に開催し、委員から様々な課題について問題提起、報告を受けた。公開シンポジウムを計画することとし、1つはイノベーション関連（後の議題で審議）、もう1つは今後議論するが、大排出国である中国、インドのエネルギー・温暖化対策といったテーマなどを考えていくこととした。
- ・ 大久保委員より、次世代再生可能エネルギー導入検討小委員会について報告があった。資料1にあるように、本日、シンポジウム開催予定の旨、紹介がなされた。
- ・ 藤岡委員より、資料6をもとに、熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会

について報告があった。関連する学会もいくつかあると思うので、情報交換等、連携を図ることも考えて欲しい等の意見が出された。

2) シンポジウム等の提案

- ・ 秋元幹事より、資料2に基づき、公開シンポジウム「長期の温室効果ガス大幅排出削減に向けたイノベーションの役割と課題」の提案がなされた。シンポジウム開催を承認した。なお、政府関係者も政策への反映という点から講演者に含めた方が良いのではないかと意見もあったが、原案どおり承認した。

3) 学術フォーラムおよびそれに基づく「学術の動向」記事に関する報告

- ・ 鈴置委員長より、資料3に基づき報告がなされた。参加委員からも大変良い講演、議論がなされた意見があった。

4) 高エネルギー密度科学に関する日米シンポジウム報告

- ・ 三間委員より、資料4に基づき報告がなされた。ハイパワーレーザー分野の重要性が改めて認識された会議となった。

5) 小委員会の提案

- ・ 三間委員より、資料5-1、5-2に基づき、ハイパワーレーザーによる高エネルギー密度科学小委員会設置の提案がなされ、承認された。

6) 分科会の活動方針

- ・ 学術フォーラム「エネルギー科学技術教育の現状と課題」は、有益なシンポジウムとなったが、年配の世代の参加が多く、幅広い層の参加が少ないのが残念。今回に限らないが、学術会議シンポジウムの課題である。また、学術会議の外の組織等との連携をより強化する努力を引き続き、続けることが重要との意見が出された
- ・ 現役の先生は多忙であるし、また地方から参加するとなると学生も含めて予算の問題もある。このような現実の制約を克服する手段を考えなければ、なかなか幅広い層の参加を実現することは難しいとの意見も出された。
- ・ 会議の様様の Web によるオンラインでの発信なども検討課題ではないかとの意見もあった。

5) その他

- ・ 次回分科会は追って調整する。

(以上)